

企画展



# アンデス・メソアメリカ 文明展

マチュ・ピチュ遺跡  
ペルー Peru

古代の暮らしと聖なる動物たち



Andean and Mesoamerican Civilizations  
Sacred Animals and Ancient Life

2011年5月28日[土]～7月31日[日] 愛知県陶磁資料館 本館 第1・第2展示室

### 開館時間

5月28日[土]～6月30日[木]:  
午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)  
※5月28日[土]は開会式のため午前11時から

7月1日[金]～7月31日[日]:  
午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

### 休館日

毎週月曜日(但し7月18日[月・祝]は開館、7月19日[火]は休館)

### 観覧料

一般500円(400円) 高大生400円(320円)  
中学生以下無料( )内は20名以上の団体料金  
※リニモ主要4駅(陶磁資料館南駅、藤が丘駅、  
八草駅、愛・地球博記念公園駅)の  
改札内スタンドに配置の割引チラシ持参の方は  
観覧料が2割引になります。  
※身体等に障がいのある方および付き添いの方には  
割引制度があります。

主催 愛知県陶磁資料館

共催 愛知県立大学、中日新聞社

後援 メキシコ合衆国大使館、在名古屋ペルー共和国総領事館、愛知県教育委員会、愛知高速交通株式会社(リニモ)

協力 国立民族学博物館、BIZEN中南米美術館、天理大学附属天理参考館、光記念館、タカヨシ・メキシコ美術館

監修 杉山三郎(愛知県立大学 特任教授)、嘉幡 茂(愛知県立大学 客員共同研究員)、小林貴徳(同志社大学 非常勤講師)、佐藤吉文(国立民族学博物館 外来研究員)

助成 芸術文化振興基金



テオティワカン遺跡  
メキシコ 太陽のピラミッド(左奥)月のピラミッド(右)



毎月第3日曜日は  
陶芸ふれあい体験日

詳細は当館ホームページをご覧ください

図版 上から動物象形彩文壺 ペルー 北海岸 モチュエ文化/地方発展期  
紀元前後～後700年 BIZEN中南米美術館蔵/柄形把手付及注口壺  
ペルー 南海岸 ナスカ文化 前100～後700年 国立民族学博物館蔵/劇  
場型各形の壺 メキシコ エスクイントラ地方 マヤ古典期前期 後200～600  
年 BIZEN中南米美術館蔵/彩文深鉢 グアテマラ マヤ低地南部・ペテ  
ン地方 マヤ古典期後期 後600～900年 BIZEN中南米美術館蔵



愛知県陶磁資料館  
Aichi Prefectural Ceramic Museum

やきものを見て、つくて  
一日遊べる体験ミュージアム

古代のアメリカ大陸では、遅くとも1万4千年前頃に人類の入植が始まり、紀元前1500年頃には農耕を中心とした複雑な社会が誕生しました。その後、南米のアンデス地域ではチャビン文化が、アメリカ中央部のメソアメリカ地域ではオルメカ文化やマヤ文化が興り、16世紀初頭にスペイン人によってアンデス地域のインカ帝国とメソアメリカのアステカ王国とが滅ぼされるまで、鉄器を持たない石器時代の段階に位置づけられる独特の文明が花開きました。

この両地域の古代人は、天文学、数学、哲学、建築学などの面で卓越し、これらの知識によって我々とは異なる世界観を形成しました。彼らは神々と自然と動植物が一体であると信じ、人は神々によって生かされるとして、メソアメリカの主食であったトウモロコシ、そして、アンデスのジャガイモまでもが神格化されたのです。

本展覧会では、日本国内の博物館、美術館などが収蔵している考古遺物や民族資料を中心に、アンデスとメソアメリカの古代人が神々などのように共生していたのかを探り、併せて、その伝統が今日まで伝えられている様相を紹介します。

**同時開催**

**マチュ・ピチュ新発見100周年記念写真展**  
 ー世界がマチュ・ピチュを知った日ー  
 6月24日[金]～7月31日[日] 会場：特別展示室  
 主催：在名古屋ペルー共和国総領事館  
 ペルー共和国外務省  
 後援：愛知県陶磁資料館

臨時テーマ展示  
**みちのくの焼き物ー東日本大震災被災地応援展ー**  
 6月4日[土]～7月31日[日] 会場：特別展示室

NHK BSプレミアム アニメ「へうげもの」関連企画  
**東海3県10館合同展覧会**  
**「織部・大教寄・コレクション」**  
 7月5日[火]～9月25日[日]

# アンデス・メソアメリカ文明展

古代の暮らしと聖なる動物たち



人物座像 コロンビア西部 キンパ文化  
後300～1500年 BIZEN中南米美術館蔵



喫煙具(パイプ)  
メキシコ中央高原 サオティワカン文化  
前150～後600年 国立民族学博物館蔵



ネガティブ文様壺  
ペルー北高地レクイア文化/地方発展期  
後1～700年 BIZEN中南米美術館蔵



人面壺  
ペルー南海岸 ナスカ文化 後100～700年  
愛知県陶磁資料館蔵(辻清明コレクション)



動物象形三足彩文壺  
コスタリカ北部太平洋岸 ニコヤ文化  
後500～1000年 BIZEN中南米美術館蔵



人物象形壺  
ペルー北海岸 チムー文化/地方王国期  
後850～1470年 BIZEN中南米美術館蔵



硬玉の首飾り  
メキシコマヤ文化  
天理大学附属天理参考館蔵



幾何文様織織 緑麻の袋  
ペルー中央海岸  
ナヤンカイ文化/地方王国期  
後1400～1500年  
BIZEN中南米美術館蔵

# Andean and Mesoamerican Civilizations

## Sacred Animals and Ancient Life

**国際フォーラム「古代アンデス・メソアメリカの暮らしと聖なる動物たち」**

6月26日[日] 午後0時30分～4時20分 ※参加費無料、事前申込不要  
 主催：愛知県立大学 会場：愛知県陶磁資料館 本館 地下講堂  
 講師：クリストフマコフスキー(ペルー カトリック大学 教授)  
 渡部森哉(南山大学 准教授)  
 ガブリエラ ウルニューエラ(メキシコ ラス・アメリカ大学 教授)  
 杉山 三郎(愛知県立大学 特任教授)

**関連事業**

- メキシコのタペ「メキシコ式結婚披露宴 など」  
6月25日[土] 午後5時～ ※詳細は当館ホームページをご覧ください
- 講演会1「メソアメリカ考古学の最前線」  
7月10日[日] 午後1時30分～3時 会場：本館 地下講堂  
講師：嘉幡 茂(愛知県立大学 客員共同研究員) ※参加費無料、事前申込不要
- 講演会2「メソアメリカ地域における先住民族の暮らしと儀礼世界」  
7月17日[日] 午後1時30分～3時 会場：本館 地下講堂  
講師：小林貴徳(同志社大学 非常勤講師) ※参加費無料、事前申込不要
- 展示解説  
監修者による展示解説：6月5日[日]、6月19日[日]、7月3日[日]  
学芸員による展示解説：6月12日[日]、7月30日[土]  
いずれも午後1時30分～ 展示会場にて ※参加費無料、事前申込不要  
(ただし、観覧券が必要です)

**寄贈記念**

会期中、茶室「陶翠庵」では、故・加藤唐九郎氏と人間国宝・鈴木蔵氏の茶碗でお抹茶を楽しんでいただけます。(一眼530円)

**瀬戸市内の展覧会**

- 瀬戸市美術館  
特別展  
「鼻煙壺の技と美  
ー沖正一郎コレクションー」  
6月4日[土]～7月31日[日]
  - 瀬戸蔵ミュージアム  
「なるほど! 発見! やきもの展! 2011」  
5月14日[土]～7月31日[日]
  - 瀬戸新世紀工芸館  
企画展  
「瀬戸市新世紀工芸館修了作品展」  
7月2日[土]～9月19日[月祝]
  - マルチメディア伝承工芸館  
企画展 せともの祭80年記念  
「瀬戸染付ができるまで  
ー磁祖民吉が広めたやきものー」  
6月29日[水]～9月26日[月]
- 問い合わせ先：瀬戸市美術館 TEL 0561-84-1093

**愛知県陶磁資料館**  
 Aichi Prefectural Ceramic Museum  
 〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234番地  
 TEL 0561-84-7474 FAX 0561-84-4932  
<http://www.pref.aichi.jp/tauji>

**交通**

■リニモ(東部丘陵線)「陶磁資料館南」駅下車、北方向へ徒歩600m  
 ■名鉄バス(土・日・祝日のみ運行)  
 名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅(バス停「瀬戸駅前」)から「愛・地球博記念公園駅」行き「陶磁資料館」下車  
 ■自家用車(駐車場無料・250台収容)  
 東名高速道路「日進JCT」経由、名古屋瀬戸道路「長久手IC」から瀬戸方面に約5km/東名高速道路「名二環道」名古屋「IC」から瀬戸・豊田・足助方面へ約10km/東海環状自動車道「せと赤津IC」から長久手方面へ約7km  
 ■タクシー  
 地下鉄東山線「リニモ」駅から約20分/名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅から約15分

